

高校生看護師体験

未来の看護師が 増えることを期待

耳原総合病院では、毎年夏休みに高校生向け看護士の職業体験をおこなっており、今年で30年目になります。

コロナ禍で緊急事態宣言が出た年からオンライン上でおこなっていましたが、昨年春には感染対策などの工夫をおこな

今回夏の高校生体験は5日間の開催で、15校から60人ほどの参加がありました。

「看護師さんの働いている姿を間近で見ることができ、とてもかっこよかった」「体験や見学を通して看護師への憧れが増した」「大変だけれどやりがいがある仕事だと思った」「来年も看護師体験にきたい」とうれしい感想もありました。



手指消毒



シーツ交換

体験では実際に現場へ行き、車椅子やストレッチャー

「今年春からは病棟での体験も再開しました。今回は来年の春開催を予定しています。この看護師体験を通して未来の看護師が増えることを期待しています。」

の乗車、とろみ茶の試飲、シーツ交換、環境整備、手指消毒などの体験をおこない、病棟で働く看護師の姿を見学し交流もしました。



実際の救急車の車内を見学

3回目の

新入職員オリエンテーション開催

7月30日に、今年度3回目となる新入職員オリエンテーションを行いました。座、友の会支部へ訪問する出前講座の企画検討が主な内容です。

「目標管理シート作成」では、4月に設定した目標がどこまで達成できたかを振り返り、次の目標を立てました。

4月は、「仕事を覚える」、「業務に慣れる」という目標が多かったのですが、今回は「もっと効率的に業務をすすめる」など、一歩進んだ目標を立てることができていました。



確認しながら学びました。

出前講座は、4月10日かかったたまり場へ訪問し、前回の礼をこめて講座を開き交流しようとして企画しています。医療従事者の知識をいかした「薬に関するクイズ大会」、「正しい手洗い」や「フレイル予防体操」などが検討されています。

最後に、職場から一人ひとりにメッセージがプレゼントされ、食い入るよう読み姿や涙ぐむ姿が印象的でした。

参加者の感想

- いつも悩むことが多かったので大変勉強になりました。
- 4月の目標を達成できてうれしかった。
- 共に入職した仲間が頑張っていることを知りほげみになりました。
- 久しぶりにグループメンバーに会い、リフレッシュできました。



こった拍手の音が更なる聞き手を呼び込んだのかもしれません。

直接声を掛けることはできなくても、音楽であれば届けることができるかもしれない。癒したい時、立ち止まりたい時、決断したい時に心のまんなかにピアノの音色がありますように。何よりまずはご自身の心にあかりが灯るように弾いて、聴いてみてください。

（みみはら）
アートセッション

衛藤 桃子

医療の場を暮らしとつなぐ
誰でも自由に弾けるピアノ

「まんなかピアノ」 Jazzコンサート



7月8日「まんなかピアノ」を利用した川合有加さん（ピアニスト）、川合俊幸さん（ギタリスト）によるJazzコンサートを行いました。

「医療の場を暮らしとつなぐ誰でも弾ける」というコンセプトで今年度から正式運用開始した「まんなかピアノ」が会場です。ここで活躍しているアップライトピアノは2015年新病院建て替え当時、地域の方から寄贈いただいたもので、友の会会員さんのコーラス練習など

この日の演奏会では患者さんや付き添いの方々、そして職員も合わせて50人を超える観衆が明るい音色に足を止めました。演奏の合間に巻き起